

第2回多様な教育熟議in東京

私たちが求めている教育が
まだ成熟されていないと感じる
本当の問題は何だろうか

2010年12月19日

14時～16時半

主催：EFC/おるたネット

熟議とは

- 「熟議」：多くの当事者による「熟慮」と「討議」を重ねながら政策を形成していくこと。

政策を形成する際、

- ①多くの当事者（保護者、教員、地域住民等）が集まって、
- ②課題について学習・熟慮し、討議をすることにより、
- ③互いの立場や果たすべき役割への理解が深まるとともに、
- ④解決策が洗練され、
- ⑤個々人が納得して自分の役割を果たすようになる、
というプロセスのことを言う。

WEBサイト「熟議カケアイ」より

熟議の効果

◎**熟議の効果 1 : 行政改革**

◎**熟議の効果 2 : 新しい教育文化の創造**

WEBサイト「**熟議カケアイ**」より

多様な教育熟議とは

日本の教育の未来について

「熟慮して討議する」場です。

教育に関わりのある人みんなで話をするので、

「自分たちにできること」を考えていこう。

という場になります。

教育に関わる人たちが、教育の未来のために繋がり、

日本の教育文化が、

実際に形成されていくことも目指します。

前回の熟議からうまれた問い。

・ **学校との繋がり**

それぞれの立場の人が「自分事」に
なるには。

どうしたら対等な対話ができるのか。

どうしたら学校に関われるのか。

前回の熟議からうまれた問い。

・ **学校という場の環境づくり**

「ひらかれた学校」を

つくるにはどうしたらいいのか。

学校は癒しの場となっているのだろうか

学校が「型」にはまらないためには？

前回の熟議からうまれた問い。

・ **制度の問題**

オルタナティブ教育の法的認可を
得るためには。
教育についての「評価」はどうあるべきか。
学習指導要領は妥当なのかどうか。

前回の熟議からうまれた問い。

- ・ **教育内容、教育のあり方**

教育に携わる者が「学び続ける」

必要性について

学校における特別支援教育とは

家庭教育での具体的な改善方法

身体づくりのリテラシーについて

前回の熟議からうまれた問い。

A:学校との繋がり

B:学校という場の環境づくり

C:制度の問題

D:教育内容、教育のあり方

熟議テーマ1

**私達を感じている問題の
「本当の原因」
は何だろうか。**

休憩 5分

熟議テーマ 2

**私たちが、問題だ。と
思っていることは
どうしたら解決できるだろうか。**

**★具体的に。
第3回までに何ができるか**

C:制度の問題

**学力問題。大学入試。学校を自由につくる権利。
すでに申告中。ブログや新聞のコラムを活用する。
奈良市の教育委員会に直接提案書を出す準備。
リヒテルズ直子氏の大学入試に関する話を広める。**

D:教育内容・教育のあり方

**サラマンカ宣言。多様な教育を保障する。
論文完成。原稿を書く。教育現場で学生に個別のサ
ポート。親御さんを巻き込んでいく。**

A:学校との繋がり

ニーズが合っていない。仕組みがなっていない。

地域と学校がお互いに理解して歩み寄っていかねばならない。

意識を変える→コミュニケーション

まずは学校内が繋がらないと。→無理。

熟議にひとりずつ繋げる。EFCに誰かを入れる。

B:学校という場の環境づくり

先生方の意識改革が必要。→そもそも先生だけ??

校長、先生、生徒、保護者、OBOG、NPO,行政、などのそれぞれの繋がりが必要。

まずは、この5人が繋がろう。

お互いに現場を見に行こう。熟議を学校でやろう。

今回だけでなく、
あきらめずにやり続けることが
成長になるのだと思います。
学校は学ぶ組織です。
それを自ら具現することが
子どもにとっても
教育になることでしょう。

とある中学校校長からのメールより

今後の予定

第3回 解決策を見つける（1月）

第4回 アクションとまとめ（2月）

次回へのステップ

**実際に
動いてみてください。**